

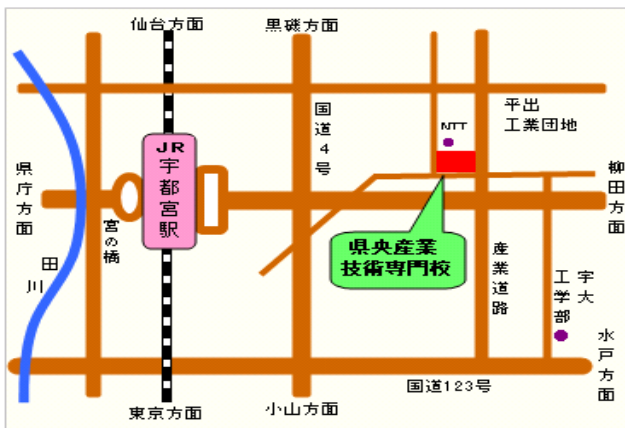
介護職員実務者研修科

栃木県立県央産業技術専門校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に職業訓練を実施いたします。



1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方。
2. **定員** 20名（一般離転職者）
3. **訓練期間** 6か月 2019年4月3日(水)から2019年9月30日(月)
 訓練時間 午前9時30分～午後4時40分（昼休み50分）
 休日 土・日・祝日及び校長が定める日（実習中はこの限りではありません）
4. **訓練実施場所** 社会福祉法人 蓬愛会 栃木介護福祉士専門学校
 宇都宮市宝木町2丁目988-5（駐車場はあります）
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラムをご覧ください。
6. **受講料他** 受講料は無料です。但し講習用テキスト代等（約14,000円）、健康診断料（約5,000円）
 訓練生総合保険料（4,800円＋振込手数料）が必要です。
 その他実費：実習時の検査料500円程度必要です。
 筆記用具・消耗品等に係わる費用は、受講者の負担となります。
7. **募集期間** 2019年2月5日(火)～3月1日(金)
8. **選考日時** 2019年3月18日(月) 午前10時（受付：午前9時30分～午前9時50分）
9. **選考会場** 栃木県立県央産業技術専門校 本館3階 視聴覚教室
 宇都宮市平出工業団地 48-4（車の方は本校グラウンドを使用してください。）
10. **選考方法** 提出書類・適性試験（30分、50問）・面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **その他**

- ① 指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
- ② 選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証（雇用保険受給者）を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
- ③ 応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予めご了承願います。



（選考場所）県央産業技術専門校

TEL:028-689-6380



（訓練実施場所）栃木介護福祉士専門学校

TEL:028-652-5070

訓練カリキュラム

栃木介護福祉士専門学校

訓練科名	介護職員実務者研修科（4月コース）	訓練終了後に想定される就職先	介護施設、障害者施設等	
訓練期間	2019年4月3日～9月30日（6カ月）			
訓練目標	介護職員としてより高いサービスを提供するために必要な介護過程の展開や、認知症、医学知識、社会保障制度や医療的ケアなど、実践的な知識と技術の習得を目標とする。			
訓練の内容	科目	科目の内容	訓練時間	
	オリエンテーション	オリエンテーション	12	
	就職支援	履歴書の書き方、就職活動の進め方と求人情報の見方、面接指導等	24	
	人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と支援、自立・自律の支援、人権と尊厳	10	
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度の基礎的理解、介護保険制度における専門職の役割	10	
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会福祉制度、障害者自立支援制度、介護実践にかかわる諸制度	30	
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	10	
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の介護実践、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	20	
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	20	
	介護過程Ⅰ	介護過程の意義と目的、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	20	
	介護過程Ⅱ	介護職による介護過程の進め方、介護過程の実践的展開、施設で暮らす高齢者の介護過程、在宅で暮らす高齢者の介護過程	26	
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴うところとからだの変化と日常生活への影響	10	
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等	20	
	認知症の理解Ⅰ	認知症の基礎的理解	10	
	認知症の理解Ⅱ	認知症の医学的理解と支援の実際	20	
	障害の理解Ⅰ	障害の基礎的理解	10	
	障害の理解Ⅱ	障害の医学的理解と支援	20	
	ところとからだのしくみⅠ	移動・移乗、食事、入浴・清潔、排泄、着脱・整容・口腔清潔、睡眠に関連するからだのしくみ	20	
	ところとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、移動・移乗、食事、入浴・清潔、排泄、着脱・整容・口腔清潔、睡眠、終末期における観察のポイント	60	
	介護総合演習	実習に関する事前・事後指導	20	
	医療的ケア	医療的ケア、安全な療養生活、清潔保持と感染予防、健康状態の把握、喀痰吸引、経管栄養	70	
	健康と生きがい支援	人間としてよりよく生きること	22	
	デス・エデュケーション	人間の「死」を考えることで「生きる」を考える	22	
	実技	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、居住環境の整備と福祉用具の活用、移動・移乗の介護技術の基本、食事の介護技術の基本、入浴・清潔保持の介護技術の基本、排泄の介護技術の基本、着脱・整容・口腔清潔の介護技術の基本、家事援助の介護技術の基本	20
		生活支援技術Ⅱ	移動・移乗の介護、食事の介護、入浴・清潔保持の介護、排泄の介護、着脱・整容・口腔清潔の介護、睡眠の介護、終末期の介護	30
		介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	48
医療的ケア演習		喀痰吸引のケア実施の手引き、経管栄養のケア実施の手引き、救急蘇生法の手引き	36	
介護実習		授業で学んだ知識・技術を展開する	30	
訓練時間総合計 650時間（学科 486時間、実技 164時間）				
主要な機器設備	ベッド、寝具一式、体温計、血圧計、ストップウォッチ、喀痰吸引器具一式、経管栄養器具一式、モデル人形、救急蘇生器具一式、歩行補助用具各種、ポータブルトイレ、便尿器、口腔ケア用具一式、車いす、移動・移乗用具、パルスオキシメーター、調理・食器用具一式、高齢者疑似体験用スーツ、ストレッチャー、介護機器 他			